

都市再生整備計画 事後評価シート
善光寺表参道地区

平成27年3月

長野県長野市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	長野県		市町村名	長野市		地区名	善光寺表参道地区			面積	243ha				
交付期間	平成22年度～平成26年度		事後評価実施時期	平成26年度		交付対象事業費	10,102.4百万円	国費率	0.4						
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	事業名 道路(長野大通り自転車道、市道長野西87号線、市道長野西203号線外四線、長野停車場線歩道整備、長野駅善光寺口広場)、地域生活基盤施設(耐震性貯水槽)、高質空間形成施設(市道長野大通り線歩道整備、長野駅善光寺口公衆トイレ、長野駅善光寺口エスカレーター、障害者誘導施設整備)、高次都市施設(新長野市民会館、長野駅善光寺口人工地盤、長野駅善光寺口地下通路)												
		提案事業	老朽案内板除却、駅舎修景施設整備、高速バス乗降所整備、自由通路整備、市民文化創造活動センター、アートマネジメントセンター、善光寺表参道景観づくり推進、歩行者用公共案内標識計画検討、新市民会館運営計画策定ニーズ調査、表参道ふれ愛通り活用推進												
	当初計画から削除した事業	基幹事業	道路(中央通り歩行者優先道路化、千才町通りふれあいの道整備)、地域生活基盤施設(権堂駅駐輪場、緑町広場)、高質空間形成施設(北八幡川親水整備)、高次都市施設(長野大通り歩行者デッキ)、権堂駅駐輪場	削除/追加の理由	<ul style="list-style-type: none"> 中央通り歩行者優先道路化:高質空間形成施設に移行したため。 千才町通りふれあいの道整備:市民ニーズが変化したため。 権堂駅駐輪場、再開発事業地内で必要台数が確保できたため。 緑町広場:庁舎建設事業との工程調整のため。 北八幡川親水整備:社会資本総合整備計画の「水の安全・安心基盤整備」分野に移行したため。 長野大通り歩行者デッキ:「新長野市民会館」の建設地が変更したため。 							削除/追加による目標、指標、数値目標への影響	一部の指標に関係するが、数値目標は据え置く		
		提案事業	文化芸術資料情報センター	アートマネジメントセンターに事業を統合したため。								影響なし			
	新たに追加した事業	基幹事業	道路(市道長野西62号線外一線、権堂みち空間整備)、地域生活基盤施設(表参道長野五輪メモリアルパーク、権堂イーストプラザ整備、長野駅自由通路観光情報案内板、歩行者用案内標識整備)、高質空間形成施設(中央通り歩行者優先道路化、野外彫刻ながのミュージアム、長野駅善光寺口バスシェルター整備)、高次都市施設(権堂地区市民交流施設整備事業、長野市観光情報センター再整備)、既存建造物活用事業(地域交流センター)	数値	<ul style="list-style-type: none"> 市道長野西62号線外一線、権堂みち空間整備、表参道長野五輪メモリアルパーク及び野外彫刻ながのミュージアム:まちの回遊性の向上を図るため。 歩行者用案内標識整備:地域創造支援事業より移行したため。 権堂イーストプラザ整備:市民交流の促進及び賑わいの創出を図るため。 長野駅自由通路観光情報案内板:観光客増加とリピーター確保を図るため。 中央通り歩行者優先道路化:道路事業より移行したため。 長野駅善光寺口バスシェルター整備:魅力的な駅前広場空間を創出するため。 権堂地区市民交流施設整備事業:賑わいの再生と市民交流の活性化を図るため。 長野市観光情報センター再整備:観光客の増加及び回遊性の向上を図るため。 地域交流センター:地域コミュニティの活性化及び地域住民と観光客の交流を促進するため。 							一部の指標に関係するが、数値目標は据え置く			
		提案事業	観光利便性向上事業、市民交流スペース整備、育児支援スペース整備、権堂地区市民交流広場、街角に音楽があるまちづくり事業	数値	<ul style="list-style-type: none"> 観光利便性向上事業:観光客等の利便性の向上を図るため。 市民交流スペース整備:市民活動の活性化を図るため。 育児支援スペース整備:子育て世代の活動を支援するため。 権堂地区市民交流広場:賑わいの創出と市民交流の活性化を図るため。 街角に音楽があるまちづくり事業:まちの賑わいを創出するため。 							一部の指標に関係するが、数値目標は据え置く			
	交付期間の変更	当初	平成22年度～平成26年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響										
	2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標1	歩行者・自転車数(権堂町後町)	人/日	従前値		目標値		モニタリング	評価値	目標達成度	1年以内の達成見込み		効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
					基準年度	目標年度	あり	なし							
		指標2	長野市民会館の利用者数	人/年	107,391	H21	240,700	H27	—	247,200	○	あり	なし	同種同規模施設等からの推計値であることから目標達成とは言い難いが、文化芸術振興の拠点施設の整備に加え、野外コンサートの開催や野外彫刻の設置によって文化芸術と身近にふれ合える環境を整備したことで、市民の文化活動が促進されたことから目標達成を見込む。	平成29年6月
指標3		地区のまちづくりに対する満足度	ポイント	63	H21	68	H26	63	64	△	あり	なし	事業実施によって一定の評価は得られているものの、まちづくりの取り組みが地域全体に広がっていないと感じる市民の割合が大きいことと、市民が事業効果を実感するには相応の時間を要するものと思われることから事業効果が評価値に十分反映されなかった。	平成27年10月	

	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因 (総合所見)	フォローアップ 予定時期
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
3) その他の数値指標 (当初設定した数値 目標以外の指標)に よる効果発現状況	その他の 数値指標1	歩行者・自転車数(3地点)	人/日	65,940	H21	/	/	-	66,633	/	/	拠点施設の整備に併せ周辺道路や広場等の 基盤施設の整備に加え、公共交通の機 能充実によって拠点施設間のアクセスが向 上したことから地区全体の回遊性の向上に つながった。	平成27年9月
	その他の 数値指標2	中心市街地活性化基本計 画区域の居住人口(芹田 地区を除く)	人	8,124	H24	/	/	-	8,259	/	/	中心市街地に都市機能を集積したことに加 え、歩行者空間の整備と公共交通の連携 強化を図ったことから、歩いて暮らせるまち が形成され、居住地としての魅力向上につ ながった。	平成27年10月
	その他の 数値指標3						/	/			/	/	
4) 定性的な効果 発現状況	<ul style="list-style-type: none"> ・長野駅善光寺口利活用ネットワークや表参道ふれ愛通り活用推進委員会など、整備した拠点施設の利活用を促進する体制が構築された。 ・市民ワークショップに参加した市民のまちづくりへの意欲が向上し、オープンカフェ実施の検討やまちを草花で彩る活動のほか、文化芸術振興や景観形成活動への取り組みなど市民活動が活性化した。 ・歩行者の多くが善光寺を目的として通りを通過していたが、拠点施設や魅力ある歩行空間を整備した結果、まちを回遊する観光客の姿を見かけるようになった。 												
5) 実施過程の評価			実施内容				実施状況				今後の対応方針等		
	モニタリング	所定のモニタリングシートによるモニタリング		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				○		計画期間終了後においても、モニタリングの手法を用いて定期的に継続 事業の進捗状況を確認する。			
	住民参加 プロセス	長野市民会館市民ワークショップ、表参道ふれ愛通り推進委員会ワー クショップ、善光寺表参道景観研究会ワークショップ		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				○		各団体と連携協力し、住民主体のまちづくりを促進する。			
	持続的なまちづくり 体制の構築	「長野駅善光寺口利活用ネットワーク」による活動		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				○		ワークショップやイベントの開催などを通じて、駅前広場の利活用を促進 する。			

様式2-2 地区の概要

善光寺表参道地区(長野県長野市) 都市再生整備計画事業の成果概要									
まちづくりの目標		目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
大目標:『門前都市「ながの」』～心潤う 歴史と文化が賑わう まち～ 目標1:善光寺門前町として、個性あるまちの魅力や地域資源を大切に、歴史と未来を感じる『訪れたいまち』 目標2:長野の魅力である豊かな自然と歴史、都市機能が一体となった、潤いと利便性が共存する『住みたいまち』 目標3:市民の誇りであり長野の「顔」として、様々な機能と連携し、まちの活力・文化・歴史を物語る、善光寺表参道を軸とした『歩きたいまち』 目標4:オリンピック等で培ったボランティア精神を継承しつつ、多様な市民活動を育むことにより、新たな文化を創造し、賑わいの絶えない『参加したいまち』		歩行者・自転車数(権堂町後町)	単位:人/日	19,070	H21	19,000	H26	15,465	H26
		長野市民会館の利用者数	単位:人/年	107,391	H21	240,700	H27	247,200	H26
		地区のまちづくりに対する満足度	単位:ポイント	63	H21	68	H26	64	H26
まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> ・長野駅善光寺口や中央通りの整備に加え、市街地再開発事業や新長野市民会館などの都市機能を集積したことで、中心市街地の活性化の効果が面的に広がった。 ・各事業の実施にあたり市民団体等との協働を積極的に取り入れたことで、市民のまちづくりに対する意識が向上し、市民によるまちづくり活動が活性化。 ・中央通りに接続している小路の美装化によって小路沿線に新規店舗が参入するなど活性化が図られた。 ・日常生活や市民活動を支える商業複合施設や地域交流センターなどの拠点施設の整備に加え、公共交通の機能強化や歩行者空間の整備のほか、市民団体等との協働によって総合的なまちづくりが行われた。 ・本市の玄関口である長野駅善光寺口の整備や公共交通の機能強化によって来訪者の利便性が向上した。 ・市民によるまちづくり活動が促進されたことで、門前町としての風情を活かした魅力ある街なみの形成が図られた。 ・観光客のニーズの高い広域観光案内や二次交通案内などの案内機能の強化によって観光客の利便性の向上が図られた。 								
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き拠点施設を結節する道路や歩行者空間の整備を進める。 ・拠点施設の賑わいを地区全体に広げていくため、市民団体や民間のまちづくり活動に対する支援を行う。 ・安心・安全で潤いある環境整備によってまちなか居住を促進し、活力と賑わいを創出する。 ・まちづくり団体との協働を促進させ市街地の魅力と活力の創出を図る。 ・個性ある歴史や文化をいかした「まちの顔」をつくり、観光客の誘客とまちなか観光を推進する。 								